

inches 1 2 3 4 5 6 7 8  
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue

Cyan

Green

Yellow

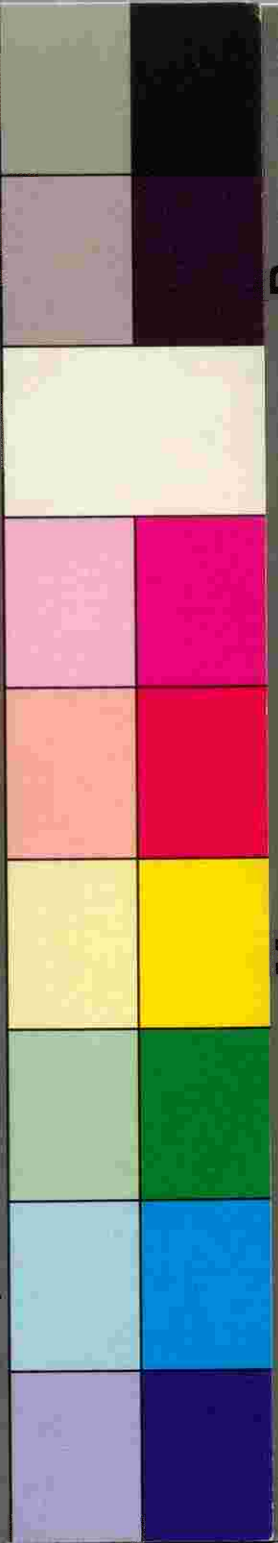
Red

Magenta

White

3/Color

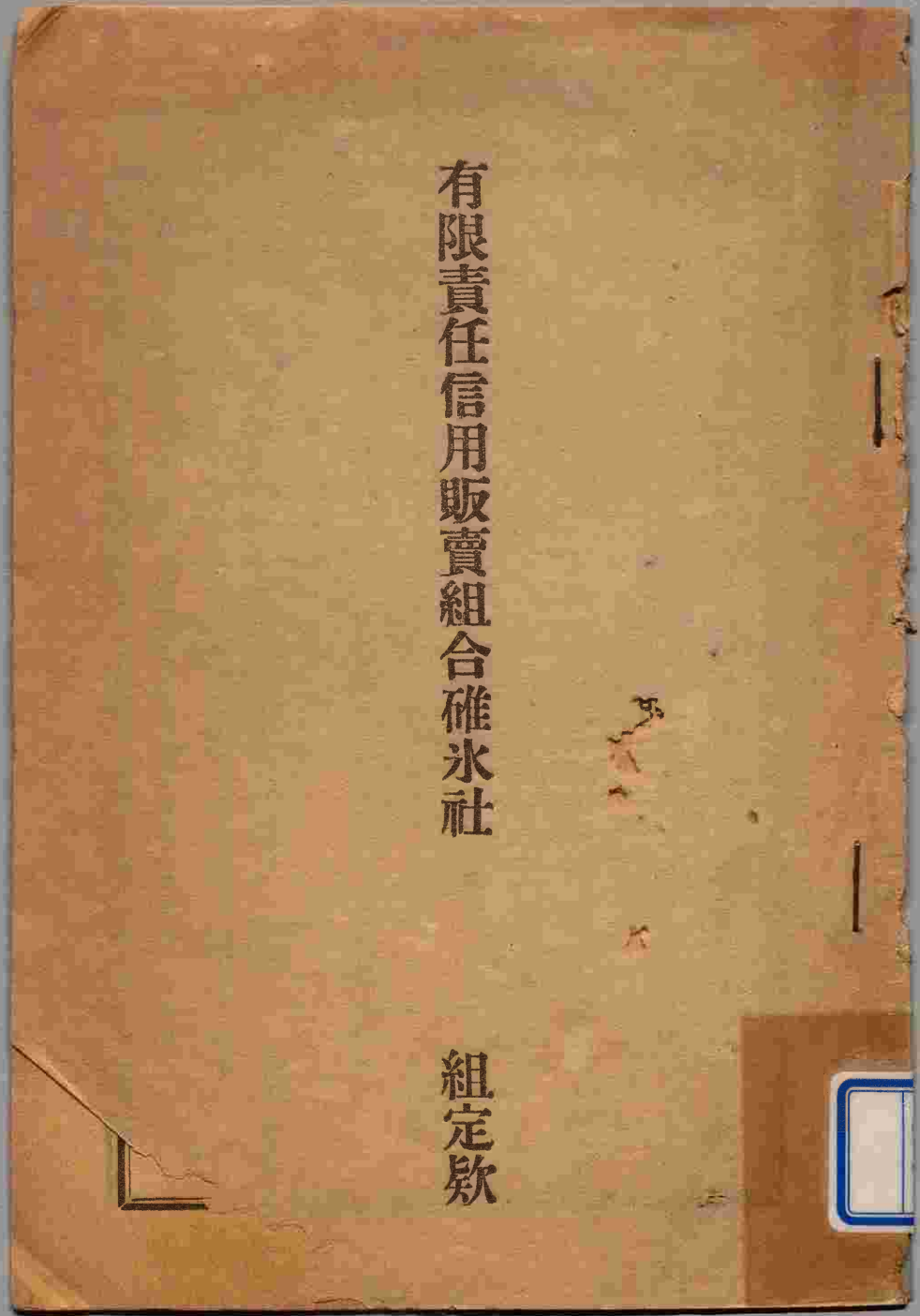
Black



A 1 2 3 4 5 6

M 8

B 17 18 19



組定款

有限責任信用販賣組合確氷社

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19  
JAPAN  
TSUBO

有限責任信用販賣組合確氷社 組定款

第一章 總 則

第一條 本組合ハ組合員ニ蠶絲業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ且組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル生絲ヲ販賣スルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 本組合ハ有限責任信用販賣組合確氷社 組ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條 本組合ノ區域ハ *石原郡野崎村*トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ 縣 郡 町 大字 村 第 番地ニ置ク

第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住居シ生絲製造ヲ爲ス者ニ限ル

第七條 組合員ハ生絲ノ取扱ヲ爲ス他ノ販賣組合ニ加入スルコトヲ得ス

第八條 本組合ノ存立時期ハ二十ヶ年トス

第九條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一、出資額ニ相當スル財産及本條第一項第二號及第三號ノ財産以外ノ財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス

二、準備金ニ對シテハ拂込済出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

三、特別積立金ニ對シテハ組合ニ委託シテ販賣シタル生絲代金ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

組合ニ損失アリタルトキハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十八條第二項ニ依リ特別積立金ヲ設備費ノ償却又ハ臨時ノ支出ニ使用シタル場合ニ於テ亦同シ

組合財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第十條 本組合ハ有限責任信用販賣組合聯合會確氷社ニ所屬スルモノトス

## 第二章 出資及準備金

第十一條 出資一口ノ金額ハ金 圓トス

第十二條 出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金 圓トス

第十三條 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ理事ノ指定スル方法ニ依リ拂込ムコトヲ要ス

第十四條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テハ毎年三月十日ニ一回ニ取纏ムルモノトス

第十五條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十六條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十七條 加入金、過怠金及第六十六條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ

之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十八條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額、役員ノ報酬及組台員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙ホ殘餘アルトキハ特別積立金ト爲スモノトス

特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其ノ他ニ之ヲ利用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得

第十九條 準備金ハ聯合會ヘ貯金トシ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若クハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若クハ總會ノ承認ヲ經タル地方債證券ヲ買入レ又ハ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

### 第三章 組合ノ機關

第二十條 本組合ニ理事 名監事 名ヲ置ク  
理事ハ組長一名ヲ互選ス

第二十一條 理事ノ任期ハ二ケ年トシ監事ノ任期ハ一ケ年トス但シ再選ヲ妨ケス

補缺選舉ニヨリ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十二條 辭任其他ノ事由ニヨリ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ補缺選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補缺選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回四月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ産業組合法第三十四條ニヨリ必要ト認メタルトキ

三、總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ  
第二十四條 總會ノ招集ニ付テハ會日ヨリ少クトモ五日前ニ各組合員ニ對シテ通知  
狀ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十五條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若  
シ半數ニ充タサルトキハ十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル組合員ヲ以テ開會ス此  
ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

總會ニ於テハ前條第二項ニ依リ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スモ  
ノトス但シ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 理事及監事ノ選任及解任、定款ノ變更、除名、解散及合併ノ決議ハ總  
組合員ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議長ハ組長之ニ當ル組長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但

シ總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十八條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十九條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十一條 本組合ニ信用評定委員 名ヲ置キ通常總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選  
任ス

信用評定委員ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

第三十二條 信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得

信用評定委員ノ選任及解任ノ決議ハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十三條 信用評定委員ハ毎年四月定會ヲ開キ組合員各自ノ信用ヲ評定シ貸付程  
度表ヲ作成ス

貸付程度表ハ理事之ヲ保管シ役員以外ノ者ノ閱覽ヲ許サズルモノトス

第三十四條 理事、監事及信用評定委員ハ名譽職トス但シ總會ノ決議ニ依リ報酬ヲ與フルコトヲ得

理事、監事及信用評定委員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十五條 本組合ハ必要ニ應シ技術員若干名ヲ置キ理事ノ合議ニ依リ組長之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ技術上ノ事務ニ從事ス

第三十六條 本組合ニ書記若干名ヲ置キ理事ノ合議ニ依リ組長之ヲ任免ス  
書記ハ理事及監事ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス

### 第四章 事業ノ執行

第三十七條 本組合ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第三十八條 組合ニ餘裕金アルトキハ聯合會ヘ貯金トシ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若クハ一箇人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第三十九條 左ニ掲ケタル事項ハ總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

一、不動産ノ取得、讓渡及其ノ他ノ處分

二、貸付金請求以外ノ訴訟行爲

三、聯合會ヘ加入及脱退

第四十條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

### 信用ノ部

第四十一條 組合員カ貸付ヲ請求シタルトキハ理事ハ貸付程度表及貸付金ノ用途ヲ調査シテ其ノ金額ヲ定ムルモノトス

第四十二條 理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルコトヲ要ス但シ貸付金額カ既ニ貸付タル金額ヲ合セ拂込濟出資額以内ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條 貸付金ノ辨濟期限ハ一箇年以内ニ於テ之ヲ定ム

第四十四條 組合員カ貸付金ノ辨濟ヲ怠リタルトキノ遅延利息ハ貸付金ノ利率ニ二割増トス

第四十五條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ組合員ニ對シ期限前ト雖辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條 貯金ヲ分ツテ甲乙ノ二種トス

甲種貯金ハ生絲販賣代金ノ千分ノ五トシ代金計算ノ際差引クモノトス

乙種貯金ハ組合員ノ隨意トシ一回金拾錢以上トス

貯金ノ利息ハ毎年三月三十一日ニ計算シ之ヲ元本ニ組込ムモノトス

第四十七條 甲種貯金ハ止ムヲ得サル事由アリト認メタル場合ノ外拂戻シヲ爲サ、ルモノトス

第四十八條 貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事便宜之ヲ定ム

貸付金ニ在リテハ年一割三分以下日歩四錢以下

貯金ニ在リテハ年八分以下

### 販賣ノ部

第四十九條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ生糸トス

第五十條 組合員ハ理事ノ承認ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セシテ前條ノ生絲ヲ

販賣スルコトヲ得ス

第五十一條 理事ハ適宜ノ時期ニ於テ組合員ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ若クハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第五十二條 本組合ハ聯合會ノ指示シタル方式ニ依リ生絲揚返器械ヲ備フ

組合カ組合員ヨリ受取リタル生絲ハ聯合會ノ指示シタル方法ニ依リ前項ノ器械ヲ以テ揚返ヲ爲シタル後其數量ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス但シ聯合會ノ査定通知ヲ受ケタルトキハ更ニ其ノ時々品等數量ヲ組合員ヘ通知スルモノトス

第五十三條 本組合ニ於テ販賣スル生絲ハ聯合會ニ委託スルモノトス

第五十四條 組合員ハ組合ノ指示シタル方法ニ依リ製絲ヲ爲スモノトシ且其ノ委託シタル生絲ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第五十五條 組合員ハ組合ニ生絲ヲ引渡シタル後ハ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ金額ハ聯合會ニ於ケル標準以內ニ於テ理事之ヲ定ム  
前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付參錢五厘以內ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ拂フコトヲ要ス

第五十六條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ生絲ノ代金ニ付總會ノ定メタル歩合金ヲ徵收ス

第五十七條 販賣シタル生絲代金ハ聯合會ヨリ受領シタル時時組合員カ委託シタル生絲ノ品等數量ニ應シテ計算シ之ヲ配分スルモノトス  
假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

生糸揚返及荷造運賃等ハ總會ニ於テ定メタル料金ヲ徵收スルモノトス  
前項ノ料金及聯合會ニ於ケル加工費其ノ他ノ料金並歩合金ハ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第五十八條 生糸受取後ノ危險ハ組合ノ負擔トス

### 第五章 剩餘金處分及損失填補

第五十九條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ各組合員ノ持分ニ應シ年六分以下トス

第六十條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

### 第六章 加入及脱退

第六十一條 新ニ組合員タラントスル者ハ申込書ニ加入金二十錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス



理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第六十二條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サントスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第六十三條 組合員脱退セントスルトキハ少クトモ其事業年度末十ケ月前ニ其旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十四條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス

第六十五條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依テ之ヲ除名ス

一、出資ノ拂込、貸付金ノ撥濟又ハ利息ノ拂込ヲ怠リ期限後三ケ月以内ニ其ノ義

務ヲ履行セザルトキ

二、自己ノ生産シタルモノニ非サル生絲ノ販賣ヲ委託シタルトキ

三、第五十條ノ規定ニ違背シテ生絲ヲ賣却シタルトキ

四、組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

五、犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第六十六條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁治産其ノ他總會ニ於テ已ムヲ得サルモノト認メタル事由ニ因リ脱退シタル組合員ニハ拂込濟出資額及準備金ニ對スル持分ヲ拂戻スモノトス

第七章 組合ノ解散

第六十七條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附 則

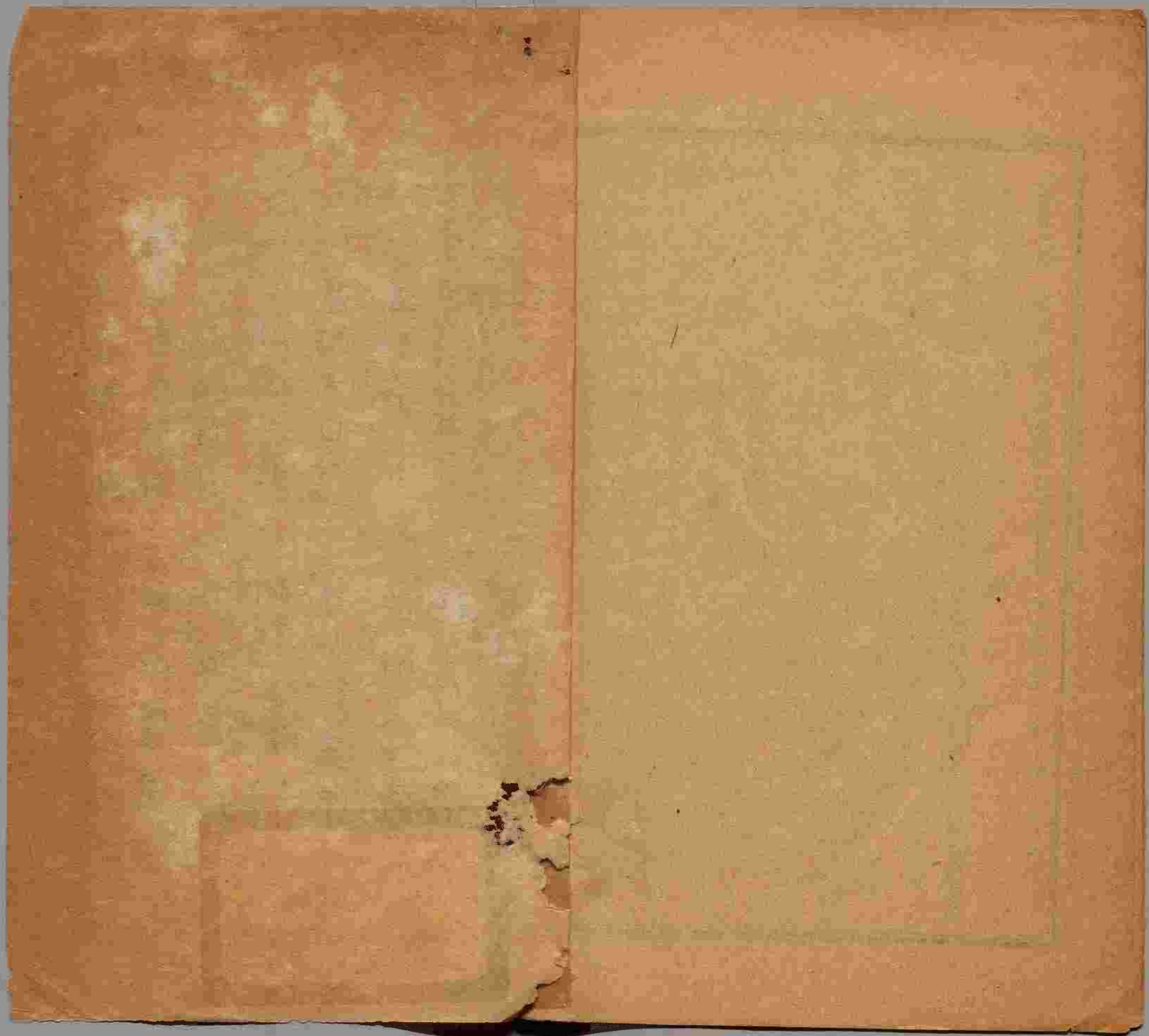
第六十八條 聯合會成立以前ニ在リテハ碓氷社ニ所屬スルモノトス

第六十九條 本組合設立登記前ノ加入者ニ對シテハ第六十一條ノ加入金ヲ徵收セサルモノトス

第七十條 本組合設立當時ノ理事監事及信用評定委員ヲ定ムルコト左ノ如シ但明治四拾四年通常總會ニ於テ改選ス

理	理	理	理	理	理	理	理
事	事	事	事	事	事	事	事
監	監	監	監	監	監	監	監
事	事	事	事	事	事	事	事

信用評定委員
信用評定委員
信用評定委員
信用評定委員
信用評定委員



福島縣 伊達郡 掛田町

福島市 曾根町

伊達郡 湯野村

信夫郡 函山村

伊達郡 太田村

伊達郡 宿海村

東白川郡 石井村

引地 慶治市

白岩 曲土栗

安田 長七

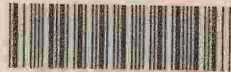
所部 多石工門

舟山 平次郎

佐藤 宿五郎

松本 島之助

群馬県立図書館



0499367-1

小野寺文庫  
4867